



2017 シカゴ・多賀城市 TOMODACHI 交流プログラム

9月3日（日）～10日（日）本校6人の生徒がトモダチ TOMODACHI 交流プログラムに参加しシカゴに滞在してきました。TOMODACHI とは、日米関係の強化に深くかかわり、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と。そうした世界での成功に必要な技能を備えた若いリーダーの育成を目指すものです。今回の交流は、シカゴ日米協会が『グローバル・シカゴ、グローバル・ミー』というテーマで企画して多賀城市の高校生がアメリカの滞在を通しグローバルに視野を広げ将来へとつなげていくことを目的として実施されました。



イリノイ州
シカゴ

シカゴはアメリカ中西部のイリノイ州に位置し、五大湖の一つミシガン湖に面している。ニューヨーク、ロサンゼルスについて人口を持つ都市です。

【9月3日 Welcome to Chicago Pizza Party】

ホストファミリーと自己紹介。この日からホスト宅に滞在です。



【9月4日 祝日 Labor Day ホストファミリーと過ごす一日】

フェスティバル、買い物、カブススタジアム、シカゴ市内観光など、初めて触れるアメリカ文化に驚き戸惑いながらすごしました。



【9月5日 シカゴ大学見学・シカゴ美術館見学】

シカゴ大学では、日本語を教えているローリー先生、ノト先生に案内をしていただき敷地内の散策、図書館、原爆、博物館など見学しました。シカゴ大学は日本人の南部陽一郎氏、小柴昌俊氏を始め、89人ものノーベル賞受賞者を輩出している大学です。原子力の始まりを記念して作られた『核エネルギー』という彫像があります。上部がキノコ雲の形、全体が頭蓋骨を示し、原子力の利便性とリスクを象徴していることなどを歴史と共に丁寧に教えていただきました。



シカゴ美術館では、旅行冊子の『地球の歩き方』ライターでもある斎藤博子先生に案内、解説をしていただきながら、シーラの「グランドジャット島の日曜日」を始め、ルノワール、ゴッホ、ピカソの作品等を歴史背景、文化背景とともに鑑賞しました。また、日本人建築家の安藤忠雄氏がデザインした屏風の展示室、宇治平等院鳳凰堂の欄間の複製（アメリカ人によって修復されたもの）などシカゴ美術館における日本の文化も知ることができました。



【9月6日 オムロン社訪問・シカゴ川クルージング】

日系会社で、世界中に会社を持つオムロン社を訪問し、シカゴ駐在員の徳永氏から全体の説明と工場の案内をいただきました。そこでは17ヵ国語が使われており、日本人の良さと外国文化の良さを取り入れながらより良いものを目指して、海外の会社にも日本人駐在員が必要な理由などを教えていただきました。



シカゴはそれぞれ特徴的な高層ビルが立ち並びます。美しいカーブがあるビルや下層階が上層階より細くなっているビル等を眺めながら、川自体も、セイントパトリックデイには緑色に染まること等のガイドの話をききながらシカゴの町並みを楽しみました。



【9月7日 モレックス社訪問・Farewell Reception】

アメリカの会社で、世界各地に支社を持つモレックス社を訪問しました。この会社では、携帯電話の充電差し込み口や、任天堂のゲーム等の光ファイバーによるコネクタを製造しています。女性マネジャーのリールさんに説明をいただき、自らも初めてアメリカに来たのが高校生の時で、その後アメリカに来て現地採用となり活躍しているというタナベさんの話なども興味深いものでした。



夕方には在シカゴ日本国総領事館の伊藤総領事とお話をする機会をいただきました。このプログラム自体は短期間であるけれども、この経験が今後の人生に長く影響するようにできるといいですね、とお話しをいただきました。



夜には Farewell Reception を開いていただきました。

レセプションでは、ご挨拶をいただいたあと、多賀城高校の校長先生からの親書を渡し、その後多賀城高校生のプレゼンテーションとして、このプログラムに参加した理由や将来の夢、多賀城高校の紹介、日本文化の紹介等をパワーポイントを使いそれぞれ英語で発表しました。



【9月8日 Lane Tech College Prep. School 訪問】

レーンテック高校は、シカゴで最も歴史ある高校であり、全米トップ5に入ると言われ日本語の授業も実施している高校です。この日多賀城高校生はレーンテック高校の生徒とペアになり、1校時目から8校時目まで、そのパートナーの授業を一緒に受けました。先生がそれぞれの教室にいるので、生徒は5分の休み時間に教室を移動します。発言の多い授業に参加し、大きな刺激を受けました。





その後、Deep Dish と呼ばれるシカゴ名物の厚いピザを囲み、お互い学習している日本語と英語を交えながら楽しい食事をしました。お互いの連絡先を交換し、今後の交流も続けることを約束していました。



今回のプログラム参加は、シカゴ日米協会のご尽力により実現したものです。参加生徒6名はアメリカ文化を経験し、アメリカ人の優しさや寛大さ、そしてアメリカ在住の日本人の優しさと強さに触れ、グローバル社会で自分の夢に向かう一歩を踏み出しました。



(生徒の感想)

千葉桃子

私のこのプロジェクトにエントリーした時に決めた目標は二つありました。一つは英語力を向上させること。もう一つは文化を肌で感じることでした。普段学校で学ぶのは"書く英語"ですが、今回一週間シカゴで過ごすことで、"話す英語"をより身につけることができました。ホストファミリーと生活する中で、最初は英語が全然聞き取れず、私の英語もなかなか思い通り通じず、会話が成り立たないことが多々ありました。ですが日を重ねるごとに英語が少し聞きとれるようになり、コミュニケーションのコツも掴み、ホストファミリーとたくさん会話を交わせるようになれました。英語を教えてもらったり、逆に日本語を教えたりすることも出来ました。

文化については、生活の中でも沢山感じられたし、特にシカゴの街の中には、日本には無いような建築物ばかりあって驚きました。

また、このシカゴでの一週間は、シカゴ大学やシカゴ美術館、OMROM や MOLEX などのグローバルに活動している会社、レーンテック高校などを訪問したりして、すごく充実したものでした。中でもレーンテック高校では実際に授業をうけたりして、日本の高校と違うスタイルでとても印象的でした。

この経験は私の価値観や視野を広げ、自分の考え方や将来に影響を与えてくれるものとなりました。自分が知らない世界が他にたくさんあるんだなと考えるともっと色々な国に行ってみたいなと感じました。今回のホストファミリーと、レーンテック高校で出来た友達との関係をずっと続けて行きたいです。

私に貴重な体験をさせてくれたこのプロジェクトに関係している皆様にとっても感謝しています。

尾川彩佳

今回様々なことを経験した中で最も心に残っていることはホストファミリーと過ごした1日です。CBS 球場、ネイビーピア、おいしいレストランに連れて行ってもらいました。アメリカの文化を知る良い機会になりました。何よりホストファミリーとより親密になりました。

このプロジェクトで私は今までにない経験をし、交流の輪、将来の視野の幅が広がりました。というのもこのプロジェクトに参加した理由として私は生徒会に所属しておりそこで外国の方と交流する機会がありその時に海外に興味を持ち、海外の人と交流したい、また色々な経験をして将来選択に役立てたいと考えていたからです。

レーンテック高校の方々との交流で連絡先を交換しメッセージをやりとりし、会社の見学では駐在員というお仕事があることを知り興味が湧きました。とても楽しく良い経験になりました。

またプロジェクトを通して、様々な方に支えられていると感じました。周りの方々への感

謝することも改めて気づかせてくれるいい機会となりました。

滝口芽愛理

アメリカでのショッピングや普段は経験することができない企業訪問、授業見学など、とても充実した日々を送ることができました。たくさんの人の支えや協力に感謝したいと思います。ひとつひとつ身に染みて感動しましたが、1番心に残っているのはホストファミリーと過ごしたたわいない時間です。とても親切に優しく接していただき、初日の不安な心がすぐに和らぎました。分からない英単語を、私が理解するまで丁寧に説明していただいたり、お互いの趣味を語り合ったりするうちに、英語があまり話せないという恥ずかしさがなくなり、積極的に会話を続けることができるようになりました。何事においても、この積極性は自分を成長させる大切なものと気付かされました。日本人の思いやりの心と、アメリカ人のおおらかな心や積極性の両方を持ち合わせ、将来は世界の架け橋となるような仕事につくことができたらと思っています。自分の夢への実現に向けての、大きな一歩となりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

黒淵紗弥

今回ホームステイなどをして、自分の考え方や見方に大きな変化がありました。1週間過ごしてみて一番感じたのは、個性を大切にしている点でした。例えば、自分の持つ意見はハッキリと伝えるという点です。日本人は良くも悪くも意見を合わせたりしますが、アメリカではそういう事が少ないそうです。私はそれは日本には少ないとてもいい事だと思いました。自分の考えや意見をはっきり伝えた上で合意していく方がみんなの意見を聞けるので、より良い結論などが出せるのではないかと思いました。また、色々な人種の人がいいましたが、そんなことは関係なく生活していました。私はそのようなオープンなところがいいなと思いました。マナーなどは別として、とてもものびのびと自分に自信を持って生きていけるのではないかなと思います。

星 聖亜

私はこのプログラムでアメリカの高校の授業に1日参加させてもらいましたが、日本とは全然違う風景でした。生徒のみなさんはみんな発言しててわからないところがあったらすぐ手をあげて質問していて積極的だという印象が強かったです。でもアメリカの高校を見ていると日本の高校はアメリカと比べてここが良いという点もたくさん見えてきます。そしてこのプログラムではアメリカ滞在中はホームステイでした。私は初めてのホームステ

イで不安でしたがホストファミリーの皆さんが温かく迎えてくださり 1 週間楽しく過ごせました。コミュニケーションを取る上で綺麗な発音で話すのはそんなに大切ではなく、頑張ってお話そうとするのが大切なんだと身をもって実感することができました。このアメリカで学んだ経験を活かし、自分の将来に繋げていけるよう今出来ることを一生懸命頑張りたいです。

柴崎 千寛

今回の TOMODACHI プログラムで初めて外国へ行って私は世界の広さにとっても驚きました。見るもの、触れるもののほとんどが日本と違ってとても斬新な感覚でした。その中でも印象的だったのが人々の寛大さです。ホストファミリーの Chris (クリス) さん、Terri (テリー) さんは私がなかなかうまく英語を話せない時も最後までしっかり聞いてくれたり、いつも笑顔で話してくれたりしました。不安がありましたが二人のおかげで緊張がとけるのも早く、他の方々とも楽しく話ができるようになりました。また、レインテック高校では全くアメリカの学校生活がわからない私に親切に丁寧に教えてもらいました。アメリカの高校は生徒が授業ごとに教室に移動すること、自分で好きな教科を選べること、レインテック高校には 5000 人もの生徒がいること・・・等を知ってとても驚きました。どのクラスでも、皆しっかりと先生の話聞き、ディスカッションを活発に行っていたり、英語をうまく聞き取れなくても生徒のやる気がとても伝わってきて、私も負けてられない、勉強したい、気持ちが沸き上がりました。私達と交流をした生徒も頑張って日本語でコミュニケーションをとろうとしてくれました。私はこれからも積極的に英語を使って、たくさんの人とコミュニケーションをとれるようになりたいです。

今回のこのプロジェクトは将来への第一歩になれば良いなと思っていましたが、それ以上に得るものがたくさんありました。将来海外で働きたいという夢が一段と膨れあがり、「なんとんでも」という必死な心も私の中に生まれました。2年生の今のうちから将来の夢のためにいろいろなものに挑戦し、また、受験勉強にも早めに取りかかりたいです。今回のこのプロジェクトを企画して下さったシカゴ日米協会の方々、オムロン社、モレックス社の方々、シカゴ大学の先生、シカゴ美術館の先生、私達の面倒を見て下さったホームステイ先の方々、などたくさんの方が他人お世話になりました、とても充実した忘れられない一週間になりました。本当にありがとうございました。